

日刊 動労千葉

83. 12. 19

No. 1521

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九二五、六（公衆）〇四七二、二七二〇七

12.15国鉄労働者集会に60名



国労の地本をはじめ全国から国鉄労働者が結集

十二月十五日、千葉県教育会館で開催された、「総選挙闘争勝利、反動中曽根内閣打倒、59
・2ダイ改阻止、国鉄労働運動圧殺攻撃粉碎、動労『本部』革マル追放・一掃、12・15国鉄労働者集会」は、動労千葉三八〇名を先頭に全国の国鉄労働者ら六一〇名が結集し、国鉄・三里塚決戦にむけた猛然たる決意をうち固める集会として大成功を勝ち取りました。

3・25三里塚へ全国の労働者の決起を ― 反対同盟・北原事務局長が特別報告―

映画「戦艦ポチョムキン」が終了する頃には、会場は立錐の余地がない程の労働者が結集し、水野副委員長の司会のもと、本日の集会を契機に断固反撃の闘いに決起しよう！とのあいさつで集会が始まりました。

最初に、三里塚現地からかけつけた反対同盟の北原事務局長が盛大な拍手に迎えられて登壇し、特別報告を行いました。

北原氏は「八三年を振り返ってみると日々勝利してきた闘いだ。10・9は動労千葉、国労を中心にした新たな多くの人々が登場し大成功した。三里塚は今厳しい情勢にある。脱落派は公団のやりたい戦術を先取りしており、11・20には岩山記念館を破壊し、中にいた人の頭を割った。革マルと同じだ。権力は脱落派を防衛している。動労千葉は、革マルと闘ってきたが、真実がどこにあったのかますます証明されている。労働運動の右傾化の中で、労働者の真の解放は動労千葉がすべてを担っていると確信している。1・8岩山記念館での旗開き、3・25三里塚に全国の労働者の登場を希望します」と述べました。

「59・2」を三里塚と 結合させ勝利しよう ― 布施書記長が基調報告―

集会には多くのメッセージが寄せられましたが、東京実行委員会世話人・浅田光輝氏、高島喜久男氏、全関西実行委員会代表・永井満氏、衆院選を闘う上野建一、小川国彦、辻田実、新村勝雄、沢利久の各氏からのメッセージ、檄電が紹介され、全員の拍手で確認しました。

全国の闘う国鉄の仲間、熱烈な報告に鳴りやまぬ拍手

集会には国労九地本をはじめ、全国から闘う国鉄労働者が結集し、全国各地で闘う国鉄の仲間を代表して、五名から熱烈な決意表明を受けました。すべての発言者は、今日の「国鉄」攻撃が中曽根の軍大化・改憲にむけた国鉄労働運動解体攻撃であること、その中で合理化に協力し、すべての権利を売り渡し、闘う国鉄労働者に襲いかかってくる怒りは職場にみちあふれており、革マル分子の一掃なくして国鉄労働者の未来はないこと、そして、動労千葉と共に三里塚を闘う労働運動こそ勝利の路線であることを訴え、ひととき大きな拍手がこれに応えました。

さらに、全金本山労組の長谷副委員長、整電社労組、全通空港支部からの連帯のあいさつが行われ、これを受けて動労千葉十一支部を代表して、松崎新小岩支部長と田中青年部長より「国鉄・三里塚を基軸に『59・2』を阻止し、3・25三里塚に総決起する」との決意が表明されました。

集会は最後に、中野委員長がまとめを行った後（次号掲載）全員でインターを合唱し、山口副委員長の声頭で団結ガンバローを三唱して大成功のうちに幕を閉じました。